

2026年度共通テストについて	試験時間：60分(2科目選択)／配点：50点(2科目100点)
-----------------	---------------------------------

- 2025年度共通テストに比べ、ページ数等がやや減少し、考察問題が減ったが、知識問題は標準的な難易度の文章正誤判断問題が中心であり、負担感は同程度となった。
- 2021年度・2023年度にあったような、問題を解くうえで分野を超えた知識を活用する必要のある設問は見られなかった。

共通テスト出題一覧	平均点 36.46 点
-----------	-------------

大問	出題単元・テーマ	特徴	小問数	平均得点率
1	A：細胞の構造と植物の代謝 B：DNAの複製と構成	問4は、どのヌクレオチド鎖のことなのかに注意して、ケアレミススをせずに解きたい	5	60.49%
2	A：内分泌系と自律神経系による体温調節 B：免疫の仕組みと予防接種の影響	問3と問6は、どちらも考察問題だが、知識があれば排除できる選択肢が多い	6	77.77%
3	A：森林限界と遷移の進行 B：人間活動が生物に及ぼす影響	問5：魚類Cが選り好みしないのであれば、居場所の違いで、捕食される割合が変わることになる	5	79.89%

2027年用 パワーマックス共通テスト対応模試

編集方針と書籍の特徴

- 過去5年間の共通テストに照らし合わせ、大問ごとに様々な難易度の問題を掲載しています。
- 様々な出題形式に対応できるよう、最新の本試験だけでなく、追試験を含む過去に出題された形式も盛り込んだZ会オリジナル問題です。
- 基本的な知識理解を問う問題から、既知ではない資料を使った考察問題、数学的な手法を用いて分析・解釈する問題まで掲載しており、一冊で共通テストで高得点を狙うための対策が可能です。
- 共通テスト問題作成の基本的な考え方や問題作成方針に示されている、「『どのように学ぶか』を踏まえた問題の場面設定」や「身近な課題等について科学的に探究する問題」を出題しています

出題分野別小問数	分野	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
	■ 生物の特徴	5	6	6	7
	■ ヒトの体の調節	6	7	6	7
	■ 生物の多様性と生態系	6	4	6	6

生物基礎



オリジナル模試4回分を収録

定価 715円(税込)
B5判 | 問題編64ページ
別冊解答・解説編28ページ

採用特典

▶P.25-26

納品形態

▶裏表紙

学習診断サイト

▶P.23

本文データ

Webダウンロード

問題・解答ともバラシA可

パワーマックス 出題一覧

	大問	出題単元・テーマ	小問数	難易度	目安時間
第 1 回	1	細胞小器官と細胞の分類／シャルガフ比	5	標準	9分
	2	血糖調節／血液型	6	標準	11分
	3	バイオームの水平分布／水圏生態系の物質収支	6	やや難	10分

	大問	出題単元・テーマ	小問数	難易度	目安時間
第 2 回	1	いろいろな生物の細胞／遺伝子の本体とその構造	6	標準	8分
	2	免疫のしくみとその応用／体液	7	標準	12分
	3	遷移と環境／自然浄化	4	やや易	10分

	大問	出題単元・テーマ	小問数	難易度	目安時間
第 3 回	1	光合成／細胞分裂	6	やや易	11分
	2	高地で生活する動物の酸素循環／糖尿病	6	標準	10分
	3	夏緑樹林の構造／食物連鎖	6	やや難	9分

	大問	出題単元・テーマ	小問数	難易度	目安時間
第 4 回	1	赤血球の分化／酵素の性質を調べる実験	7	標準	11分
	2	体液と免疫に働く細胞／血液による酸素の運搬	7	やや難	10分
	3	気候とバイオーム／侵略的外来生物	6	標準	9分